三和新報

日刊（除日曜・祝祭日）第182号 平市六丁目三和新報社発行 電472
支社・寺局―東京寺局・湯本支社
支社・内郷支社・小名浜支社
12月6日 （1カ月50円）
（昭和29年6月17日第三種郵便物認可）

人の往来

◇加藤金吾氏（平職安所長）は去月二十八日から東京、静岡方面に求人開拓と職業補導のため出張していたが四日夕刻帰平した

湯本信用組 役員改選

湯本信用組合（組合員七百名）の定期役員改選は十九日午後一時から湯本公民館で行う

防犯協議

常磐市防犯協会代議員は七日午後二時から警察署でひらき、年末年始防犯運動および行事、冬季休暇中の学童の防犯ポスター標語の募集、防犯用幻燈スライド購入などについて協議

巡回義肢修理

石城福祉事務所では義肢の巡回製作修理を六日植田小、七日平市公会堂で行う

産業教育研究会

産業教育研究会は七日午前九時から植田中でひらく、講師は県教委指導主事佐藤新九郎氏

きものと帯の御用命は
かみや
平市二丁目電256

市長は諸橋、県議は馬目

自由クラブの態度決る

平自由クラブ（故鈴木辰三郎氏系）では次期平市長、平市部縣会議員選出につき復雑な動きがあり党として態度をきめなければならぬ必要に迫られているので去る二日、四日の両日田町鈴木正男氏宅に現議員を除く十數氏が会合して協議、活発な議論を行ったが結論として

一、次期市長選に諸橋、野崎が対立した場合はかかりを捨てて諸橋現市長を推すこと

一、県議には馬目武之助氏を推すことになり、これを現議員にはかり同意を得たので情勢の変らない限りこの線で進むことになつたものようである

小野氏の公認確定的

民主党小野一雄氏（植田町）の公認問題は高木松吉氏の公認問題と からんで種々取沙汰されていたが ある」と語つた小野氏は「自分の公認は確定的で

鈴木（光）氏（三区）（共産）出馬決定

日本共産党では第三区衆院選候補に鈴木光雄氏（石城地区委員長）を決定した

希望退職十四名 古河炭鉱

炭界の不況にあえぐ常磐炭田の中小炭鉱は相ついで休閉山の憂目にあつているが古河好間炭鉱では経営の合理化を図るため人員の配置転換、機械化などを行つてきたがこのほど職員の希望退職者を募つたところ六日現在十四名に達した

ポン男逮捕

五日午後十時三十分ころ内郷市宮町滝内の路上でヒロポンを注射していた同市宮町蛭子五四日雇高萩久主(三)は巡回中の内郷署員に現行犯で逮捕された

高萩は十月上旬から四回にわたり同市宮町金坂地内の常磐炭鉱住吉坑選炭場附近から鉄類三十貫目（二千円相当）を盗んだ疑いもあり六日書類送検

三阪、沢渡、永戸合併決る

みの輪の分村も決定

三阪、沢渡、永戸三カ村合併促進協議会は五日沢渡中でひらき三阪村の一部が田村郡小野新町に合併したいとどれたが記名採決の結果合併賛成十二、反対七で三カ村の合併が決つた、また冥輪の内郷、好間への分離合併も可決し好間は同日冥輪村大利、榊小屋両部落の受入れを決議、内郷市では冥輪村高野部落の受入れを六日決議した三カ村合併による新村名は三和村である

大野、大浦、四倉合併 一月から新発足

既報さきの合併協議会で町名を「四ツ倉町」とすることをきめた四ツ倉、大野、大浦の一町二カ村では四日町村会を開き合併を満場一致で決議したので十二月県会にはかり明年一月から新発足することになつた

軽自動車にはねられ重傷

五日午後七時三十分ころ平市新町農猪狩泰次さん(三)は内郷市共立病院前の菅本精米所に脱こく機をリヤカーに積んで運搬中同市御厩町久世原地内の国道で軽モーター付自転車で後からきた同市つづら町一ノ坪二階堂自転車店の雇人少年某(一七)に追突されて転倒前額部左手、右手に三週間の傷を負つた

小名浜弓道会優勝

郡弓道連盟主催の第十九回郡弓道定期大会は五日午前九時から平弓道場で十団体六十名が参加熱戦の結果、団体では小名浜弓道会、個人では石川佐中氏（小名浜弓道会所属）がそれぞれ優勝した戦績は次の通り

「団体」

①小名浜弓道会（小島、有吉、石川）②常磐炭鉱弓道部（但野鈴木、吉田）③平弓道会（高根沢、伊藤、福場）

「個人」

①石川佐中（小名浜弓道会）②福場良平（平弓道会）③川島道利（古河好間）④伊藤秀一（平弓道会）⑤国井勝英（小名浜水

労金に申込殺倒

年末融資大半が労組

師走を迎えて県労働金庫平支店が予約を受け付けた年末融資総額は六十二件三千万円で昨年より五百萬円多く、ほとんどが労組と中小炭鉱内訳は炭鉱経営者の賃金遅配充当三件六百萬円越年資金用二件三百萬円、労組の厚生年金七件三百萬円、生活資金五十件一千八百萬円でデフレの金詰りがここにシワ寄せされたようだ、支店では担保や内容を審査して近く貸し付けを始めるが返済期間は四カ月から十カ月で日歩四銭

スリ

赤井村不動日曽社宅無職伊勢ナオさん(五七)は五日午後四時二十分ころ平駅改札口附近で現金千二百円在中の布製財布をすられ平鉄道公安室へ

開店時間催か十分

平某百貨店賣出し成功

五日平駅前の某百貨店では盛愚と宣伝を兼ねた洋服類半値大売り出しを行つたがこの日朝から黒山の群衆が詰めかけ押すなで殺人的な混雑、頑丈な大戸が一枚、更にガラス二、三枚が客のためにこわされ止むなく販売中止するという騒ぎを演じデフレ台風も遠く置き去られた様な珍らしい状景が現出した

同百貨店では宣伝を主体として約一千萬円からの洋服類を揃え九時半に開店したが半値で買えるという最大の魅力が効果百パーセントで開店前早くも店頭には黒山の人だかりで開店と同時にどつとなだれ込み店内は身動きもできぬ人の群が気ちがいのような安い品物を狙つてひしめき合つたため陳列だなはこわされ店のガラス戸が数枚滅茶滅茶にされあわてた店員はトビラを降し後から續く客を漸く取り抑える騒ぎで開店後僅か三分間の出来事であつた、更に同店では二時間くらい経過してまた販売を開始したが前同様の騒ぎが演じられまたも数分で販売を中止この日店を開いた時間はたつた十分だつたという前代未聞の話である

老婆身投げ

六日午前六時ころ磐城市南富岡地内の鮫川用水路に変死体があるのを通行人が見つけ磐城署に届出た調べたところ同市玉露無職佐藤ヨクさん(六二)で神経衰弱から身投げしたものらしい

娘、同性心中

五日午前七時五十分ころ双葉郡大熊町夫沢字西郷地内常磐線夜の森ー大野間夫沢トンネル西入口附近に二十才ぐらいの女の飛降り死体があるのを同町川西民芳さんが見つけた、また現場近くの田圃のワラボツチの中に全身にワラをかぶせ顔をネツカチーフで包み胸の上に両手を合掌させた二十才前後の女の服毒死体があるのを通行人が見つけた、富岡署で検視の結果二つの死体とも小高町安部織機工場女工員であることがわかり二人で同性心中をはかりワラボツチの中で服毒したがアキ子さんだけが死にトメさんは死にきれずアキ子さんの死体にワラをかぶせ自分は列車からとび降り自殺したものとみられる、とび降り死体は福田村井出字八石五十嵐トメさん(二七)で夜の森ー小高間の切符をもつているワラボツチの中の死体は浪江町川添佐藤アキ子さん(三〇)で浪江町川添佐藤平次さん宛の「先立つことをお許し下さい、骨物は妹にやつて下さい、アキ子」と書いた遺書が発見された四日、二人で工場を休み五十嵐さん方に帰つたが五十嵐さんの母親が留守で会えずに帰つておりその足で心中をはかつたものと思われる

自労組、波状攻勢

年末手当

去る三日正月七日間の有給休暇、十月から三月まで一日五十円の寒冷地手当支給など十三項目を要求して年末斗争の火ぶたを切つた全日自労県支部石城地区協議会では引き續き六日午前十時婦人部代表廿名が平職安所で加藤所長と面会「就労時間を午後三時までに短縮せよ」と要求、加藤所長から「善処する」旨回答され十三日再会を約束して正午引揚げた、なお波状的に男子部は午後一時から加藤所長に面会を求め「十二月、一月の完全就労」を要求、年末攻勢はいよいよ熾烈をきわめてきた

平市役所労組年末斗争

平市役所労組（組合員二百八十名）の臨時大会は四日公会堂でひらき1年末手当二カ月分の支給2給与の凸凹を調整せよ3市共済組合交付額を多くせよ、などを決議、執行委員二名の補選を待つて要求書を出すことになつた

平、南赤井合併建設協議

平、南赤井合併促進委員会（委員長諸橋久太郎氏）では六日午後一時から平市役所で委員会を開き合併建設案を協議した

浅野公切腹の血しぶき浴びた屏風

平の大井川氏宅に

患臣蔵で有名な播州赤穂の城主浅野内匠頭長短が切腹するときたてたびようぶを持つている人が平市にあり話題をよんでいるこの人は平市大町大井川幸隆氏で

自慢 江戸前寿司

江戸川寿店
才槌小路 電一〇二一

書籍と文房具

ヤマニ書房
平駅前 電七七七

革手袋発賣中

ゴールデンバット

整形外科 外科 内科 レントゲン科 理学診療科

入院随時
福島県平市三十米道路
医療法人 竹林病院
院長 竹林貞吉
電話六〇八番 八一一番

冬の純毛服地

紳士高級オーバー地
スーツ地
高級婦人オーバー地
トツパー地

平専門店会加盟店
平市銀座街
マルエ
TEL265

銘菓 桃の井

福島県土産品コンクール宮等賞受賞
八日京
平市一丁目
金沢屋
電327

閻魔のびようぶは三井財閥つの元子爵三井光陽氏のものだつたが十九年に戦火を逃がれるため秋田市の美術館に疎開したのを二十四年大井川氏が当時七十萬円の大金を投じて買うけたもので現在は事情があつて自由党主流派がよく利用する東京赤坂の星力閣茶寮にあるがこのびようぶは内匠頭が殿中で吉良上野之介に刃傷沙汰をおこし田村左京之介の屋敷にあずけられて切腹するとき自分の無念さをはらようぶに現わそうとして土佐絵の大家土佐光信が健筆をふるつた曽我兄弟富士の巻狩など仇討に関係ある絵巻物のびようぶで内匠頭が腹かツさばいたとき散つた血しぶきの跡がテンテンと十二個所もあり日本十六名びようぶの一つ、旧国宝指定、時価四百万といわれる逸品で外国のバイヤーたちがワンダフルを連発売つてくれと申込んでいる

送湯、追加予算決議

湯本財産区

常磐市財産区会は四日ひらき二十九年度追加予算十五万円（既定予算四百四十萬円）を原案通り可決なお新亀旅館（経営者鷲谷実）に温泉を送湯することをきめたほか温泉使用料を九萬円から十四万円に増額することになつた

遊佐君ら入賞

高校辯論大会

平工生徒会主催の第四回県下高校弁論大会は四日平工に十四名の弁士が集り若さあふれる熱弁をふるつたが審査の結果次の如く入賞者がきまつた

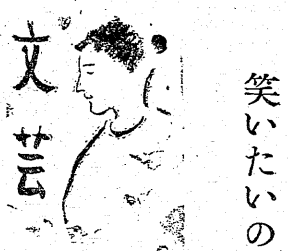
1、定時制の立場から世に訴う 遊佐敏雄（湯本高）2坂本光爾（平工）3鈴木美智子（磐女）4山本美子（平商）5屋代敏一郎（磐高）

トンネル内のレール欠損

五日午前九時三十七分ころ磐越東線小川―川前駅間井田トンネル内のレールに一本が欠損しているのを上り五六四貨物列車が発見、江田線路班が応急修理を行つた、このため上り客車（平磐午前十時五十二分）は五十六分遅れて平駅に到着、原因は平保線区で調査中

笑いたいのだが（下）

津村ひろし



これで今までの発言者の意見の全部を紹介したわけだが、私の提案を正当に理解し、軌道にのせてくれたのは、前記したやうに春日氏一人のようである。その他の人は、再び「そんなことは、自明の理である」と笑うかもしれない。しかし、これは最も重要な問題であり、好むと好まざるとにかかわらず不可避である。地方文学といいども、この困難を克服しないで如何なる文学を生むことができるというのか。コイオケをかつぐこともよし、雑誌を発刊することもよし、地方色云々もよかろう。私たちは、もう一度、現代文学の基礎となるものを追求しなければなるまい。大人ぶるより、子供になつて白紙から始めよう。私は、そう信じて疑はない。

どうにかなつて努めている。少くとも、現代文学の可能性を信ずるものは、過去の文学の遺産と真剣に取組んでいるのである。環境や土壌をとやかく云々する前に近代文学の発想の場を深く認識しなければならないと言つたのは、このためで、畢竟、私は自然主義以来ゆがめられてきたリアリズムの問題を、多くの人々は如何に考へているのかと問ふたのである。ハツキリ申上げると、私小説のひずみなのである。現代日本文学の可能性は、私小説のひずみを追究しなければ実現されない。片口氏は、再び「足元をみないと恥しくてならぬ」などと口先だけは達者だが、最初から足が地につかず、裏をはやしている。一体、片口氏は日本の近代文学史をたつた一度でもよい、実作を読みながら再吟味、再検討してみたことがあるのか、どうか？新しい文学を求めている人々は、みんな日本の近代文学を読み直し、その実りたちを認識しようと血みどろになつて努めている。少くとも、現代文学の可能性を信ずるものは、過去の文学の遺産と真剣に取組んでいるのである。環境や土壌をとやかく云々する前に近代文学の発想の場を深く認識しなければならないと言つたのは、このためで、畢竟、私は自然主義以来ゆがめられてきたリアリズムの問題を、多くの人々は如何に考へているのかと問ふたのである。ハツキリ申上げると、私小説のひずみなのである。現代日本文学の可能性は、私小説のひずみを追究しなければ実現されない。片口氏は、再び「そんなことは、自明の理である」と笑うかもしれない。しかし、これは最も重要な問題であり、好むと好まざるとにかかわらず不可避である。地方文学といいども、この困難を克服しないで如何なる文学を生むことができるというのか。コイオケをかつぐこともよし、雑誌を発刊することもよし、地方色云々もよかろう。私たちは、もう一度、現代文学の基礎となるものを追求しなければなるまい。大人ぶるより、子供になつて白紙から始めよう。私は、そう信じて疑はない。

十八日から 平商店會連合売出し

平市商店会連合会では三日商工会議所で年末年始大売出し打合せ会を開いたが二、三の町内が単独で売出し計画をたてたほか、全然腹案がなかつたためあらためて四日午後六時から、田町サロンに、腹案を持ちよつて、具体案を練つたが、単独売出しを狙つた町内も、全市連合に賛成したので今年は連合売出しになるのが確定的で期間は十八日から来春三日までの予定

百四十名減 平新入学児

平市教育委員会では明春入学する市内小学生の人数を調べたが今年より百三十七名少ない千五百八十九名となつている、各校入学人数次の通り

▽一小二五四▽二小二八四▽三小二八一▽四小四六▽五小一一四▽六小九四▽豊間一六五▽高

浜通高校 体操選手権大会

第二回浜通り高校対抗体操競技選手権大会は二十六日午前九時から磐高体育館で行われる、競技方法は二チーム（四名）が鉄棒、つり輪、徒手、とび箱、女子は徒手、平均台、とび箱の各種目を行い総合点で優勝をきめる

予算編成協議

平市内小中学校の卅年度予算編成

年末扶け合い運動協議

平民生委常任委会

平市支所管内民生委員常任委員会は六日午後一時半から平市公民館で日本間でひらき年末扶け合い運動の具体案を協議

磐崎公民館に事務局

常磐市磐崎公民館では事務局がなく廿六年から社会教育活動を行つていたが来春一月から岩崎支所会議室を転用できることになつたので卅年度の活動が期待されている

無許可キンツバ取締り

常磐署では平保健所と共同で三日夜常磐地区一帯の露天販売一斉取締を行つた結果やき鳥および飲食店営業とみなされるものは営業を許可しない、なおキンツバ製造業に対しては菓子製造業と同じく衛生的施設のない場合は許可しないということをきめやき鳥屋四軒、キンツバ屋二〇軒に対し無許可の場合は厳重取締ると警告を発した

平なごの都 市計画視察

建設省計画局総務課上条、三井両事務官は四日午後一時県土木課高橋技師の案内で来平、常磐地区綜合開発状況及び平戦災復興事務所三十年度事業による内郷平駅前の二十四米道路拡張と湯本駅前広場の拡張地を実地検討した、今年度中には決裁の見通しがつくものとみられている

拾得物三件

せち辛い世の中に拾いものの財布やオーバーなどを届けでた感心な話が三件ある

◇その一…常磐市湯本字笠井四無職金本ハツ子さん（二七）は二日午後七時半ごろお使いの帰り同市湯本三函常陽銀行の湯本支店前の国道で現金五千円小切手一枚（額面五千円相当）専門店会発行のチケツト二百五百円在中の皮財布を拾い常磐署へとどけでたが三日同市三函石島料理店亭主酒井鼈子さんが落し主と判りその善行を感謝された

◇その二…同市関船迎一六無職長谷川セキ子さん（三〇）は一日午後五時半ごろ同市湯本三函地内の路上で現金五百円を拾い常磐署へ

◇その三…常磐市関船諏訪賀下二九民生委員金一重武さん（三三）は十一月二十九日午後七時ごろ同字地内金平神社境内でゴバルト色男物オーバーがおとしてあるのを拾い三十日常磐署へ

今夜の映画（一一七）

◇聚楽館（三一七）赤い靴 終着駅

◇世界館 変化大名 覆面覆隊 三日月童子兜編

◇平館 忠臣蔵

◇民劇 太陽のない街 若い人たち みないで頂戴お月さま

◇ひかり座 アンデルセン物語 マルコポーロの冒険

◇第一いわき（一一七）三日月 童子 母の初恋 お坊主天狗

◇つづら映劇（五一七）平手酒造 風雲児信長 暗い階段

忘年会 関渥

十二月になるとどこの職場も忘年会の話で持ち切りになる、島田さんの奥さんはそれが心配で仕方がなかつた、島田さんはノンベエというより酒好きである、あんまり飲めもしないのに二次会から三次会まで廻るから忘年会の日は夜中の二時ころになつて帰つてくる、それに二次会や三次会の金の方が一次会よりも高くつく忘年会は色々な形で三回から四回ぐらいやるから三千円位の金が毎年の年の暮に酒代となる、これでは折角もらつたボーナスも何にもならないことになる

島田さんの近所には同じような悩みを持つ奥さん達が七人程いる、ある日この七人の奥さん達が集まつて相談した

「とにかく忘年会なんて止めてもらつた方が良いよ」

「んだつて男の人は酒をのむのもツキ合いだから止めるわけには行かねんだつぺね」

「二次会を止めてくれれば良い人だけどね」

「酒を飲んだら男なんてケダモノと同じなんだからダメなんだよ」

「私達も一緒に行つたらどうだつぺ」

「それはね私も考えたんだよ、ウチの人に話したらね、お前達の見あきた顔が一緒にならんでいたら面白くねえからもう一辺見直しに飲直しするようつていうの、ニクらしいんでねえの」

「男なんてホントにケダモノ見てえだね」

亭主をケダモノ扱いにする点では意見が一致したが二次会を止めさせる方は中々名案が出ないその時島田さんの奥さんがフト思いついたことがあるので話して見たら「それは良い」というので早速実行に取りかかることになつた

第一回の忘年会が行われる日の朝である

「今日は私達も忘年会をやるの」

島田さんの奥さんは夫にこう言つた

「ヘエ大分ハデになつたんだね」

「男女同権の世の中だもの、女だつて忘年会やつて悪いことはなかつぺ」

「そりや良いさ、悪いなんて言わねえよ」

「あんた達が忘年会をやるときは必ず私達も忘年会やることにしたんだよ」

島田さんは思わず奥さんの顔を見た、奥さんはマジメな顔である、島田さんは何も言わなかつたその夜の忘年会はどうも気分が浮かなかつた

景気よく歌を唄つて家の近くまで来ると賑やかな家が一軒だけあるその住宅のクラブである、一同顔を見合せソツとのぞいて見ると大変である女房共が鉢巻をして酒飲みの最中である、踊りをおどつているのもある、丼をたたいて唄つているのもある、煮物を手つかみで食つているのもある、腕まくりして酌をしているのもある、一人としてマトモなのはいない亭主共はソツとして思わず首をすくめた、どの位の時間かは分らないが盛大なこと亭主共以上である、亭主共は何も言わずにソツと我が家に帰り寝床に入つた卅分程過ぎてから島田さんの奥さんが帰つてきた、ソツとウス目をあけて見ているとおくさんの足元がフラついている、台所で一杯冷水を飲んで「ウマイ」というおくさんの声を聞いた時は島田さんはフトンの中に顔をかくしてしまつた、この調子で亭主と一緒に忘年会をやられてはたまらないと藤田さんは考えた翌朝例のおくさんたちはこんな話をしていた

「今朝は何も言わなかつたわ」

「ウチではねもう忘年会はやらないつてたわ」

「だけど皆芝居がうまいね」

「腕まくりしたカツコウは本物そつくりだつたよ」

「本当にあんなに飲めたら面白かつぺね」

家具専門店 婚礼調度用品 どこよりも安いと評判の店 明智家具店 —信販チケツト御利用下さい 平市駅前 繊維業所内 （三十米道路）内郷市内町前田

常磐市湯本温泉 バーモント 湯本座前

常陽幸運定期 25回 金の植え貯金えどき 記念賞50万円…幸運賞10万円 ◎其の他有利な割増金が当ります◎ 1口…1000円 利息全部付 抽せん日 昭和30年2月7日 常陽銀行 平支店 2丁目 電(代表)30番

平市古鍛冶町（県社下） 性病 皮膚病科 矢吹医院 電話一、一九三番

音楽の店 レコード・楽器 ラジオ・電蓄 天地堂 平和通り 平 電589

ミシンはハッピイ 綴の小山で

眼鏡専門 レフラクトメーター完備 玉屋 平市二丁目 電910

パンは花の亭 平市五丁目 電二四二

ラジオと電機器具 ユタカ 湯本横町

旅館 鈴屋 平市四丁目 電話一四四 小野屋薬局裏

パンは東京堂 平駅前大通り 電五九九

社交ダンス 白里 平6

Camera 驚くほど沢山のカメラが揃えております 本店・平駅前大通り 1860 サービス部・平三丁目 576 支店・湯本店 308 カメラのデパート 田中

第十三回全国菓子大博覧會 名誉大賞牌受賞 平餅

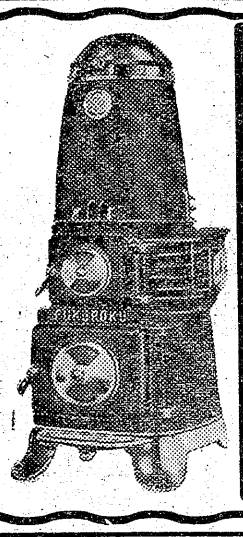
取扱店開設 厚く御礼申上げます 平餅が皆様にお願い申上げます 引立て下さいまして 下記商店にお願い申上げます 評判に応え販売 御要望に応じ取扱 今後とも 御愛顧のほど伏してお願い申上げます

常磐市……市役所入口……要屋 勿來町……駅前……安島商店

全国地方発送承ります 御菓子司 平市銀座街電話206番 松月堂

年賀印刷 三章堂 6丁目 電472

日本最古の歴史と信用を誇るストーブ界の王者 フクロクストーブ



御知らせ次第カタログ持参御伺いいたします 常磐炭鑵販売株式会社 平市田町 電二三七

財団法人 磐城済世会（平市南町二三大通り） 松村病院 電（平）一〇七番（受付）一八九二番（事務）一六九六番（第二病室）

院長 松村八十亨

内科 岸山英政 胃腸科 呼吸器科 横田春吉

外科 松村政之 婦人科 性病科 岡崎勇次

婦人科 田辺成亨

歯科 松田英雄

放射線科 吉田治彦

臨床検査部 新妻道男

薬局 薬剤師 草野吉政 志賀みさほ 佐藤仁